

提出意見とこれに対する県の考え方

No	意見の内容	意見に対する県の考え方
1	エネルギー利用については、技術の進歩が必要であることから、単に推進するというのではなく、「本県の環境に応じた技術開発が行われた際には検討、推進する」くらいの表現のほうが良いと思う。	御意見を踏まえ、「本県の情勢に応じた技術開発の状況等を踏まえ、家畜排せつ物のメタン発酵等を検討、推進します」に修正しました。
2	地域毎の推進方向のうち下関・萩地域について、「施設や機械の老朽化」に対して「畜産クラスター関連事業を活用」と記載されているが、事業目的にそぐわないのではないかな。	御意見を踏まえ、「畜産クラスター関連事業」を「補助事業」に改めました。
3	地域毎の推進方向のうち柳井地域について、「肉用牛では、一部の大規模経営以外は小規模であり」と表現されているが、「当該地域の肉用牛経営の多くは小規模であり」のほうがわかりやすいと思う。	御意見を踏まえ、修正しました。
4	「自給飼料生産における堆肥利用の目標」中に、「酪農・肉用牛生産近代化計画の飼料作物作付延べ面積とは一致しない」と書かれているが、整合性を取るために、一緒の数値が良いと思う。	酪農・肉用牛生産近代化計画は、酪農及び肉用牛についての計画ですが、本計画では、養豚や養鶏の数値も含んでおり、対象とする畜種が違いますが、数値が一致しない原因です。算出の根拠となるデータについては、両計画で整合させております。
5	「山口県水田フル活用ビジョン」に平成25年のWCS、飼料作物栽培面積を示されているが、本計画で示された平成26年度の現状数値と乖離がある。25年と26年で一気に増加したとも思えないが、何か理由があるのか。	「山口県水田フル活用ビジョン」については、水田での飼料作物栽培面積のみの集計となっておりますが、本計画では、畑などでの栽培面積も含んでいるため、数値が大きくなっております。
6	本計画の前段部分を読んで初めて目標年次が出てくるので、表紙に計画期間を明示してはどうか。	御意見を踏まえ、計画期間を明示しました。
7	「技術向上のための情報提供及び指導体制の整備」中に、「研修会による指導者の養成」「より現場の実態に	御意見を踏まえ、「さらには、畜産農家や指導者にとって、より現場の実態に即した研修となるよ

	<p>即した研修」と記載があるが、それぞれ対象者が違うと思われるので、きちんと区分して、誤解を招かないようにしてはどうか。</p>	<p>う、畜産農家の施設や堆肥センターを活用した研修を開催する」に修正しました。</p>
8	<p>「家畜防疫の観点からの適切な堆肥化の徹底等による防疫対策の強化」について、実際には野生獣が畜舎に侵入し、飼料の盗食等による病原体の逸散の方が可能性としては大きいと思う。そのため、家畜保健衛生所による巡回指導にあっては、堆肥舎だけでなく、「衛生管理区域内への野生獣の侵入防止」の指導としてはいかがか。</p> <p>また、病原体の逸散防止として、「発酵熱等による病原体の殺滅を図るために堆肥化を適切に実施する。」の方が、より理解が得られると思う。</p> <p>さらに、最後の文章では「誰が」指導するのか、はっきりと書かれていない。「指導は家畜保健衛生所がする」ということが伝わるよう表記してはいかがか。</p>	<p>御意見を踏まえ、「衛生管理区域内への野生動物等の進入防止」、「堆肥化過程で発生する発酵熱による殺菌」について記載しました。また、最後の文章については、家畜保健衛生所が指導することがわかるよう、「併せて～指導します。」と表記しました。</p>
9	<p>本計画には、「畜産クラスターの仕組み」という言葉が、あちらこちらにあるが、関係者の中には「県(農林事務所)」という言葉が一切ないがいかがか。</p>	<p>御意見を踏まえ、「第2の2 基本的な対応方向」中に、「推進にあたっては、畜産農家をはじめ、生産者団体、市町、県等が連携し、地域ぐるみで収益力向上を推進する畜産クラスターの仕組み等を活用することとします。」とし、県の位置付けについて明記しました。</p>
10	<p>利用促進についての問題点、課題などの項目を設けて掘り下げた記述が必要ではないか。現状では排せつ物の処理や畜産の状況について総花的に記述されている印象を受けた。タイトルと内容に乖離があるのではないか。</p>	<p>本計画は、家畜排せつ物の利用の促進を図るための基本的な対応方向を示したものであり、具体的施策については、毎年度の予算編成の過程において十分検討し決定してまいります。</p>
11	<p>意見作成のためには、関係法令・諸施策も確認するべきであり、又県の他の意見募集との期間重複もあり、通常のパブリック・コメントと同様の1か</p>	<p>いただいた御意見は、今後のパブリック・コメントを実施する際の参考とさせていただきます。</p>

	<p>月の期間設定は短いと感じる。</p> <p>資料再提示の上での期間の延長又は意見募集の再実施を求める。</p>	
12	<p>今回の意見募集の広報・記事扱いが実際のどの程度あったのか、後々「広報が十分なされたか」を判断するためにも、一般県民が広く目にする新聞にどう広告掲載した/記事掲載されたのか、具体的に（媒体、掲載日、大きさ）提示願う。</p>	<p>パブリック・コメントの実施については、記者配布を行い、県ホームページに掲載するとともに、新聞広告（2月4日の中国新聞及び山口新聞、2月5日の宇部日報に掲載）により広報に努めました。</p>
13	<p>当案件と同時期に、同じ山口県農林水産部畜産振興課の畜産経営班で「山口県酪農・肉用牛生産近代化計画（案）」に対するパブリック・コメント（県民意見の募集）が実施されている。当計画（案）と密接に関係する施策と思われるが、P3に若干の記述があるものの、両計画やその外県実施各種施策との関連性が分かり難い/記述に乏しいと感じる。</p> <p>関係施策と関連性を列記・図示願う。</p> <p>上記掲載の上で再度意見募集の実施を願う。</p>	<p>「山口県酪農・肉用牛生産近代化計画（案）」は、同じ畜産分野の計画ではありますが、直接関係する内容とはなっておりません。</p> <p>関係施策については、平成28年度予算において「元気なやまぐちの畜産業育成事業」のうち「家畜排せつ物利用促進事業」で、家畜排せつ物の利用促進を図っていくこととしております。</p>
14	<p>当件の内容は地域性専門性の高いものとなっていると考える。</p> <p>県民からの意見募集の他に、住民・畜産業従事者他関係者・専門家からの直接の意見聞き取り等の実施を御願います。</p>	<p>本計画（案）の作成にあたっては、畜産関係団体等と会議を開催するなどにより意見を集約し作成しております。</p>
15	<p>地域性の高い施策であり、P4にも「本県で発生する家畜排せつ物を全て受け入れる面積を有していますが、畜産農家の地域的偏在により、発生する家畜排せつ物量は異なります」との記述があるものの、その後の各地域の状況記述に各地域の具体的数値・データが無く、施策の妥当性が判断出来ないと感じる。</p> <p>各地域の数値・データ（P2の表の各</p>	<p>御意見を踏まえ、各地域の数値を示した表を追加しました。</p>

	<p>地域版)を記載願う。</p> <p>上記掲載の上で再度意見募集の実施を願う。</p>	
16	<p>P2(現状)と P9(見込み)の表を比較するに、浄化・焼却等による処理量、つまり「有効利用されない(と思われる)排せつ物量」は 9,000 トンと変化が無い事になっている。</p> <p>「利用の促進を図るための計画(案)」であるならば、この 9,000 トンをどの様に利用するのか明示するのが目的と感ずるがいかがか。</p> <p>浄化・焼却処理 9,000 トンの詳細(地域性、処理方法等)を明示願う。</p> <p>9,000 トンを如何に利用するかの施策検討を御願います。</p> <p>上記掲載の上で再度意見募集の実施を願う。</p>	<p>浄化・焼却等による処理については、県内一部の養豚・養鶏経営で行われており、メタン発酵によるエネルギー利用等、堆肥化以外の有効な活用方法として将来的にも継続した取組が見込まれております。</p> <p>本県における家畜排せつ物の利用においては、堆肥化を基本に考えておりますが、浄化・焼却等による処理については地域の実態に応じて取組を進めることとしております。</p>
17	<p>「メタン発酵」「発電」の記載が散見される。「発電」の場合は県他部署との連携が必要となると思われるが、その点特に記述が見当たらないと感じた。また、「メタン発酵」を実施するのであれば、「家畜排せつ物」に限らず有機系廃棄物全般を対象とする事も可能なはずである。</p> <p>発電の際の関係部署等の明示を願う。</p> <p>有機系廃棄物全般を考慮しての「メタン発酵」の施策を検討願う。</p> <p>上記掲載の上で再度意見募集の実施を願う。</p> <p>メタン発酵に限らず、堆肥化は家畜廃棄物に限らず有機系廃棄物全般を対象にした施策が必要と思われる。</p> <p>有機系廃棄物全般を考慮しての堆肥化の施策を検討願う。</p> <p>上記掲載の上で再度意見募集の実施を願う。</p>	<p>本計画は、家畜排せつ物を対象とした計画であるため、有機系廃棄物全般を対象とした記載はしておりません。</p> <p>なお、家畜排せつ物を含めたバイオマスの活用については、関係部署において「山口県バイオマス活用推進計画」を策定し推進しております。</p>

18	<p>当案は「計画(案)」であり、一部に数値目標の記載もあるが、具体的施策では「基本的事項」の列記(「進めます」「推進します」「図ります」といった記述)に止まると感じる。具体的事項や数値目標の決定の際には、再度意見募集・住民関係者からの聞き取り等の実施を宜しく御願います。</p>	<p>今後とも、パブリック・コメントや関係市町等との会議、説明会等により、広く住民の皆様の御意見を伺うよう努めてまいります。</p>
19	<p>関係諸団体等との連携方法、計画の評価・再検討等の実施方法・実施時期等の記載が見当たらない。</p> <p>計画(案)に上記事項記述願う。</p> <p>上記実施の上で再度意見募集すべきと考える。</p>	<p>御意見を踏まえ、関係団体等との連携について、「第2の2 基本的な対応方向」中に、「推進にあたっては、畜産農家をはじめ、生産者団体、市町、県等が連携し、地域ぐるみで収益力向上を推進する畜産クラスターの仕組み等を活用することとします。」と整理・記載しました。</p> <p>計画の評価・再検討については、施策の進捗状況を毎年度把握し、国の制度や社会情勢に大きな変更があった場合には、必要に応じて計画を見直します。</p>
20	<p>表には説明や意見表明の際のために各々に通し番号をつけるよう願う。(表 x-x の様に)</p>	<p>御意見を踏まえ、表番号を記載しました。</p>
21	<p>可能であれば年次把握が誰でもしやすいうように年代は元号西暦併記を願う。</p>	<p>いただいた御意見は、今後のパブリック・コメントを実施する際の参考とさせていただきます。</p>